

インターネットFAX プリンタードライバー 取扱説明書

Windows3.1 日本語版編

本書の内容

1. インターネットFAXのプリンタードライバーで何が出来るか
2. インターネットFAXのプリンタードライバーの動作環境について
3. インターネットFAXのプリンタードライバーのインストールについて
4. インターネットFAXのプリンタードライバーの使用方法について

本書および本件ソフトウェアの内容は、予告無く変更する事があります。

(注1)Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

1. インターネットFAXのプリンタードライバーで何が出来るか

インターネットFAXのプリンタードライバーは、LAN接続されたインターネットFAXをリモートプリンターのようにパソコンから印刷したり、あるいはインターネットFAXがメールとして受信印刷できるフォーマットに文書を変換してファイルとして登録する(TFFファイル作成機能)と云います)することが出来ます。インターネットFAXがメールとして受信印刷する場合は、インターネット上でのメールプロトコルと同じ Simple Mail Transfer Protocol (以下「SMTP」と略す) を利用しています。受信印刷する原稿データをメールの添付書類として扱います。

添付書類として付加する際にメールの拡張機能 Multipurpose Internet Mail Extensions (以下「MIME」と略す)を、利用しています。

従って、「TFFファイル作成」後、インターネットFAXへメールの添付書類として、ファイルを送信する場合は、MIME機能を持っているメーラでメールを送信する必要があります。

「TFFファイル作成」で登録されるデータは、FAXで利用される圧縮方式の Modified Huffman (以下「MH」と略す)で、圧縮したものに原稿のファクシミリ情報等の情報を付加して、ファイル形式を Tagged Image File Format (以下「TFF」と略す)にしたファイル形式になっています。

2. インターネットFAXのプリンタードライバーの動作環境について

本書で説明しているのは、「Microsoft Windows 3.1 日本語版 用」のインターネットFAXのプリンタードライバーソフトウェアについてです。

- ・ CPU が 80386SX 以上 (80486 以上を推奨)搭載のパソコン。
- ・ Microsoft Windows 3.1 日本語版以降が、動作できる環境。
- ・ 最低必要メモリ容量は、8MB 以上。
- ・ 使用ディスクメモリ容量は、4MB 以上。
- ・ プリンタードライバーソフトウェアをオンラインで入手する為に、WWWブラウザが動作する事。

- ・ TFFファイル作成機能を使用して、インターネットFAXへメールを送信する場合は、MIME機能を装備しているメーラが動作する事。

3. インターネットFAXのプリンタドライバのインストールについて

pt31jxxx.exe のファイルが、Microsoft Windows 3.1 日本語版 用の プリンタードライバソフトウェアのプログラム (圧縮されています) です。

プログラムをダウンロードしてください。また、プリンタ機能を実現するにはLPRが必要となります。LPRはほとんどのTCP/IPソフトに含まれていますが、含まれていない場合は別途ご用意ください。現時点において、動作確認済みTCP/IPソフト(LPR含む)は、NETMANAGE社のChameleonおよび AlliedTelesis 社の PC/TCP です。また、動作確認済みシェアウェアLPRは、PMLPR (Email : commprog@its.csiro.au) および WLPR (Email : th.heil@kfa-juelich.de) です。

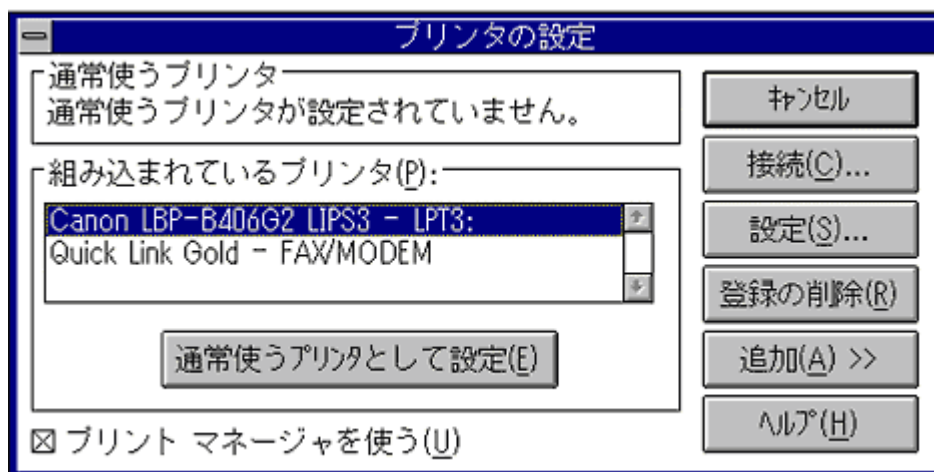
<http://ring.crl.go.jp/ring/archives/pc/forest/winsock/apps/lpr/>

(注 xxx は、Version 番号です)

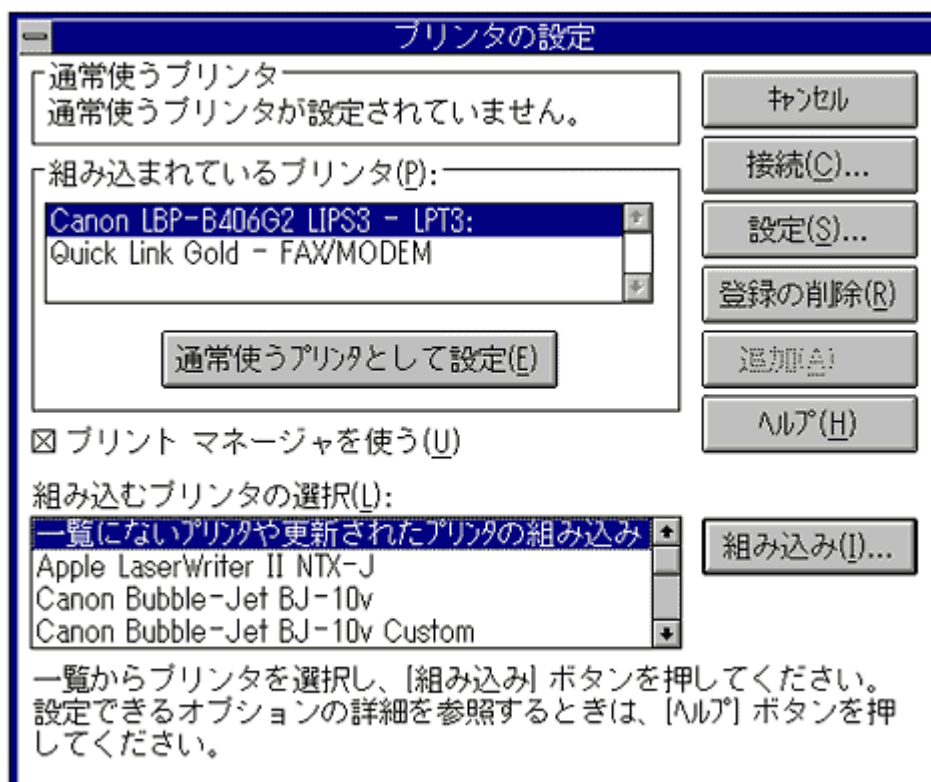
インターネットFAXのプリンタードライバをインストールする前に、プリンタードライバをインストールするパソコンとインターネットFAXがLAN接続されている必要があります。

また、インストールの際にインターネットFAXのLAN上でのIPアドレスが必要になりますので、あらかじめ確認をしておいてください。

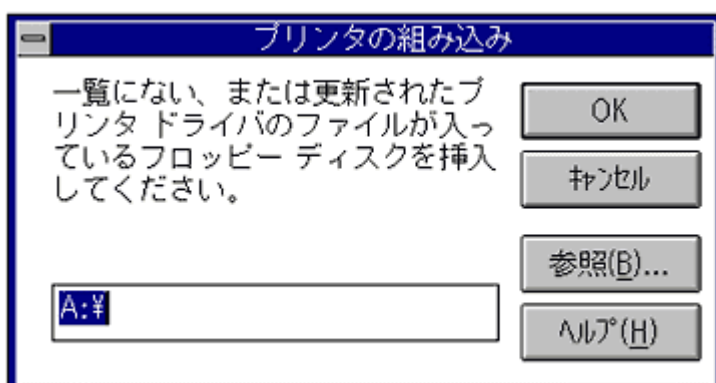
1. ダウンロードした pt31jxxx.exe ファイルは、1z形式の自己解凍型です。ダブルクリックすると解凍されます。上書きのメッセージが表示されたら、(Y/N)Yを入力してください。
2. 「メイン」画面の「コントロールパネル」をダブルクリックして、「コントロールパネル」画面を開き、「コントロールパネル」画面の「プリンタ」をダブルクリックして、「プリンタの設定」画面を開きます。



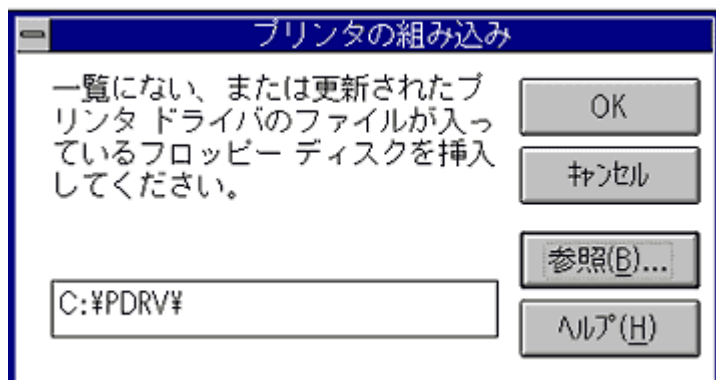
3. 「プリンタの設定」画面で「追加」ボタンをクリックして、組み込むプリンタの選択を表示させます。
(もし、プリンタの設定が初めてなら「プリンタの設定」画面が開いたとき、最初から組み込むプリンタの選択が表示されています。)



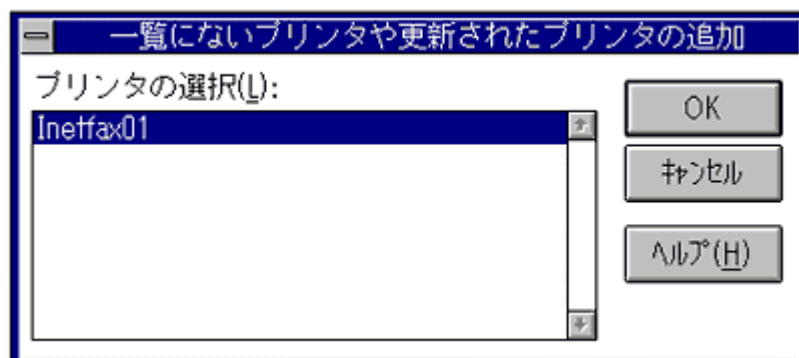
4. 「組み込むプリンタの選択」の「一覧にないプリンタや更新されたプリンタの組み込み」を、選択して「組み込み」ボタンをクリックし、「プリンタの組み込み」画面を開きます。



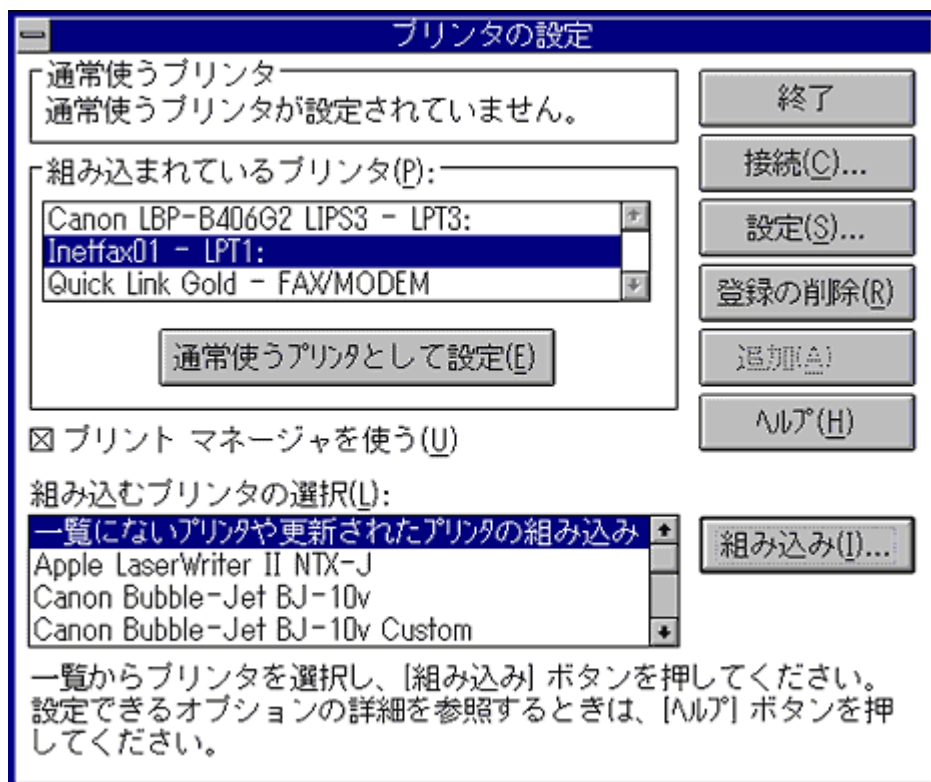
5. 「参照」を利用するか、直接キー入力するかして、prt31jp.exe ファイルを解凍したディレクトリを入力して「OK」ボタンをクリックします。



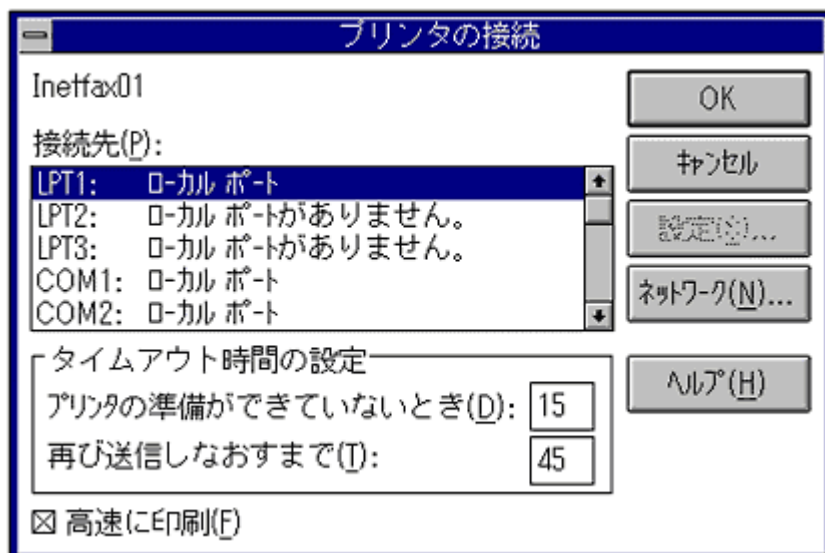
6. 「一覧にないプリンタや更新されたプリンタの追加」画面の「プリンタの選択」で「Inetfax01」を選択して、「OK」ボタンをクリックします。



7. 「プリンタの設定」画面に戻ります。「組み込まれているプリンタ」に「Inetfax01-LPT1」と表示されて Inetfax01 が組み込まれている事を確認してください。(接続先ポート名である LPT1 は、LPT2 または LPT3 になっている場合もあります。)「接続」ボタンをクリックします。



8. 「プリンタの接続」画面で「接続先」に「LPT1 (”ローカルポート”または”ローカルポートがありません”)」となっていれば、LPT2、LPT3 でも良い)を選択し、「ネットワーク」ボタンをクリックします。



以降のポート接続設定方法は、TCP/IPソフトによって異なりますので、各々の取り扱い説明書を参考に行ってください。

以上でインストールが完了です。

注意：

インストール完了時に、「インストールエラー」メッセージが表示された場合は、別の弊社製プリンタドライバ (OEM 版など) が既にインストールされていることが原因です。弊社製プリンタドライバを同時に2つ以上併用することはできません。本プリンタドライバを使用する場合には、別の弊社製プリンタドライバを登録から削除してから、再度本プリンタドライバをインストールし直す必要があります。

OEM 版弊社製プリンタドライバは現時点において以下の3種があり、削除すべきプリンタドライバ名は、¥windows¥system 配下の NTXDPM31.INI ・SIXDPM31.INI ・PBXDPM31.INI を参考にしてください。

- ・ NTT 社：NTXDPM31.INI
- ・ Siemens 社：SIXDPM31.INI
- ・ PitneyBowes 社：PBXDPM31.INI

登録の削除方法は以下の通りです。

「プリンタの設定」画面を表示し、「組み込まれているプリンタ」から削除したいプリンタを選択し、「登録の削除」ボタンをクリックする。

4. インターネットFAXのプリンタドライバの使用方法について

インターネットFAXのプリンタドライバのインストールが終わると、インターネットFAXをプリンタとして使用することが出来ます。

実際の印刷の仕方は普通のプリンタを使う場合と同じようにして行います。

一般的には、「ファイル」メニューから「印刷」を選択することになります。

(詳しくはそれぞれのソフトウェアのマニュアルを見てください。)

「印刷」の選択をすると、「印刷」、「TIFFファイル作成」、「キャンセル」を選択するダイアログボックスが表示されます。

「印刷」は、インターネットFAXへそのまま印刷する場合に選びます。

「TIFFファイル作成」は、後ほどインターネットFAXへメールで送る場合に選びます。

「TIFFファイル作成」を選びますと、変換したTIFFファイルを保存する場所をどこにするか、指定するために「ファイル作成」のダイアログボックスが表示されます。

- ・ 「ドライブ」と「ディレクトリ」で、場所を指定してください。
- ・ 「ファイル名」に、作成するファイル名を入力してください。(拡張子 tif は変更しないでください。)
- ・ 「ファイルの種類」は、変更しないでください。

「キャンセル」は、印刷を止める場合に選びます。